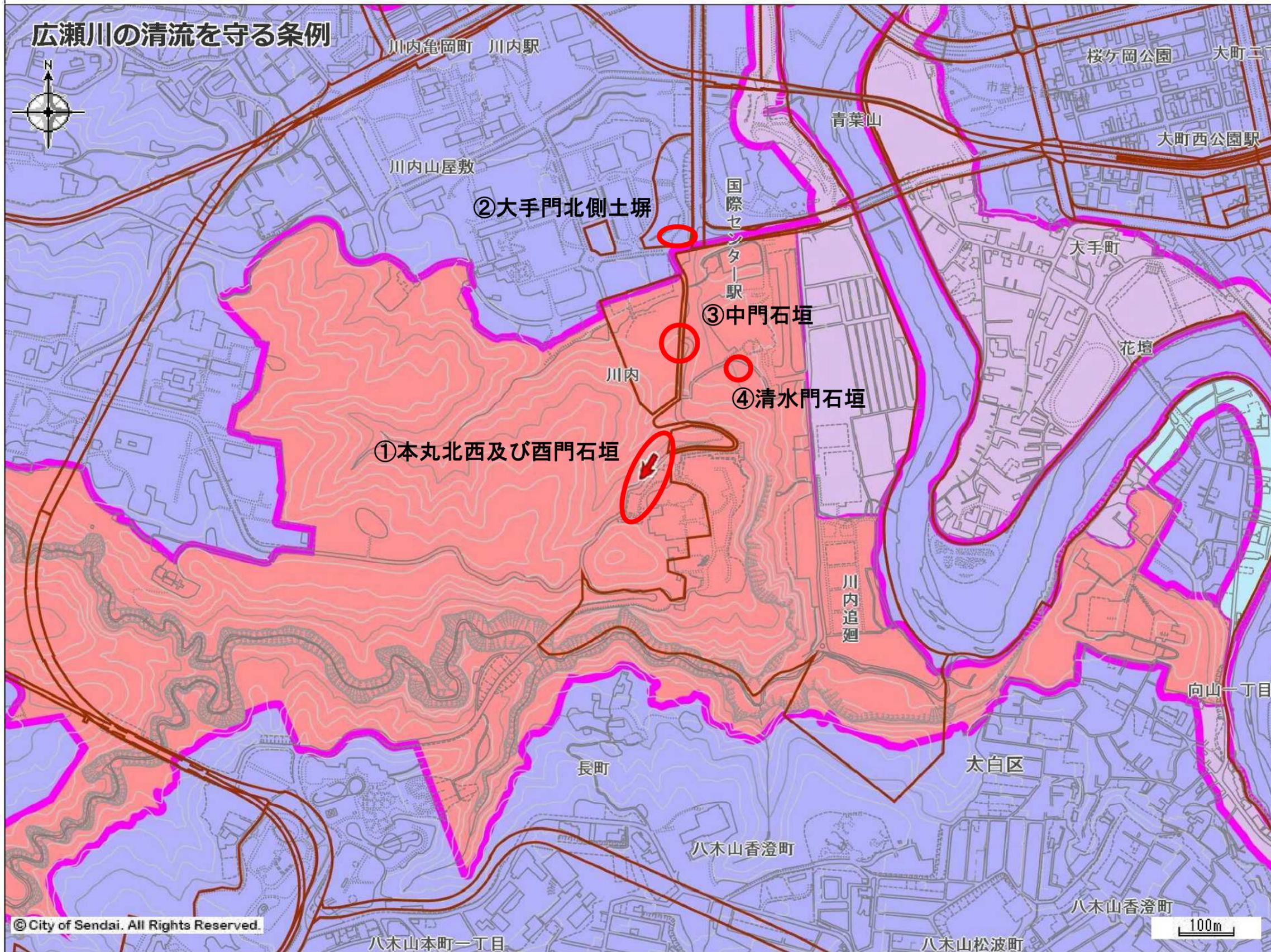


仙台城跡災害復旧事業について

仙台市教育委員会文化財課



1. 災害復旧箇所と条例区域



広瀬川の清流を守る条例			
	水質保全区域		特別環境保全区域
	隣接地要確認（環境保全区域）		都市施設境界線
	第一種環境保全区域		開発の予定道路等
	第二種環境保全区域		

2. 災害復旧事業の進捗と今後の予定

<R6.5時点>

			令和6年									令和7年					
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
①	本丸北西 及び酉門石垣	石垣解体工事	←														
		石垣積直工事							←								
		後片付け工												←			
②	大手門北側土塀	復旧工事	【令和5年度末工事完了】														
③	中門石垣	石垣解体工事	←														
		石垣積直工事	←														
		後片付け工									←						
④	清水門石垣	安全対策工事									←						
仙台城跡調査整備委員会（災害復旧部会）			●														

現在



①本丸北西石垣



②大手門北側土塀



③中門石垣



④清水門石垣

3. 東日本大震災との被災状況の比較

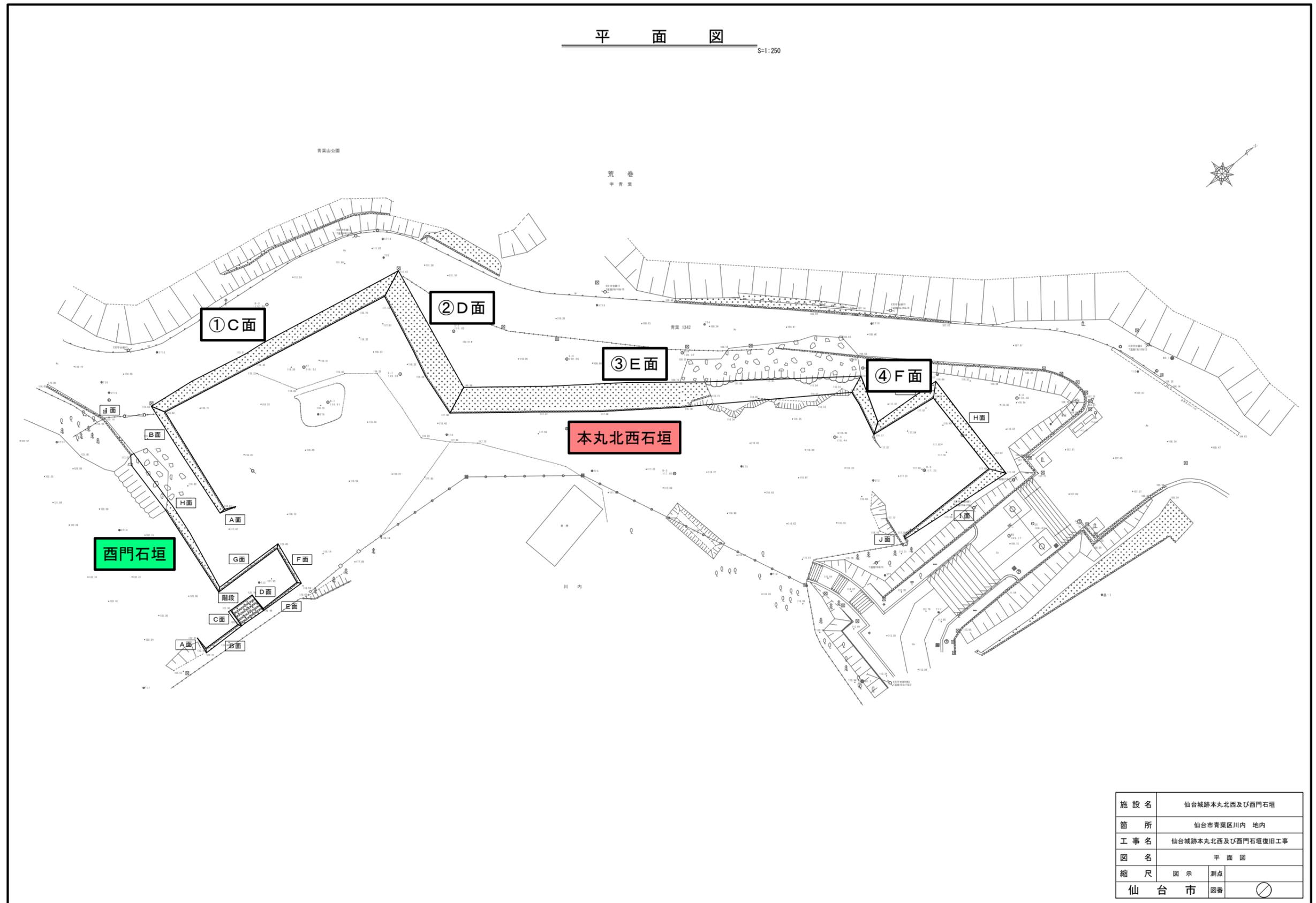


図 2.2 各石垣の箇所平面図

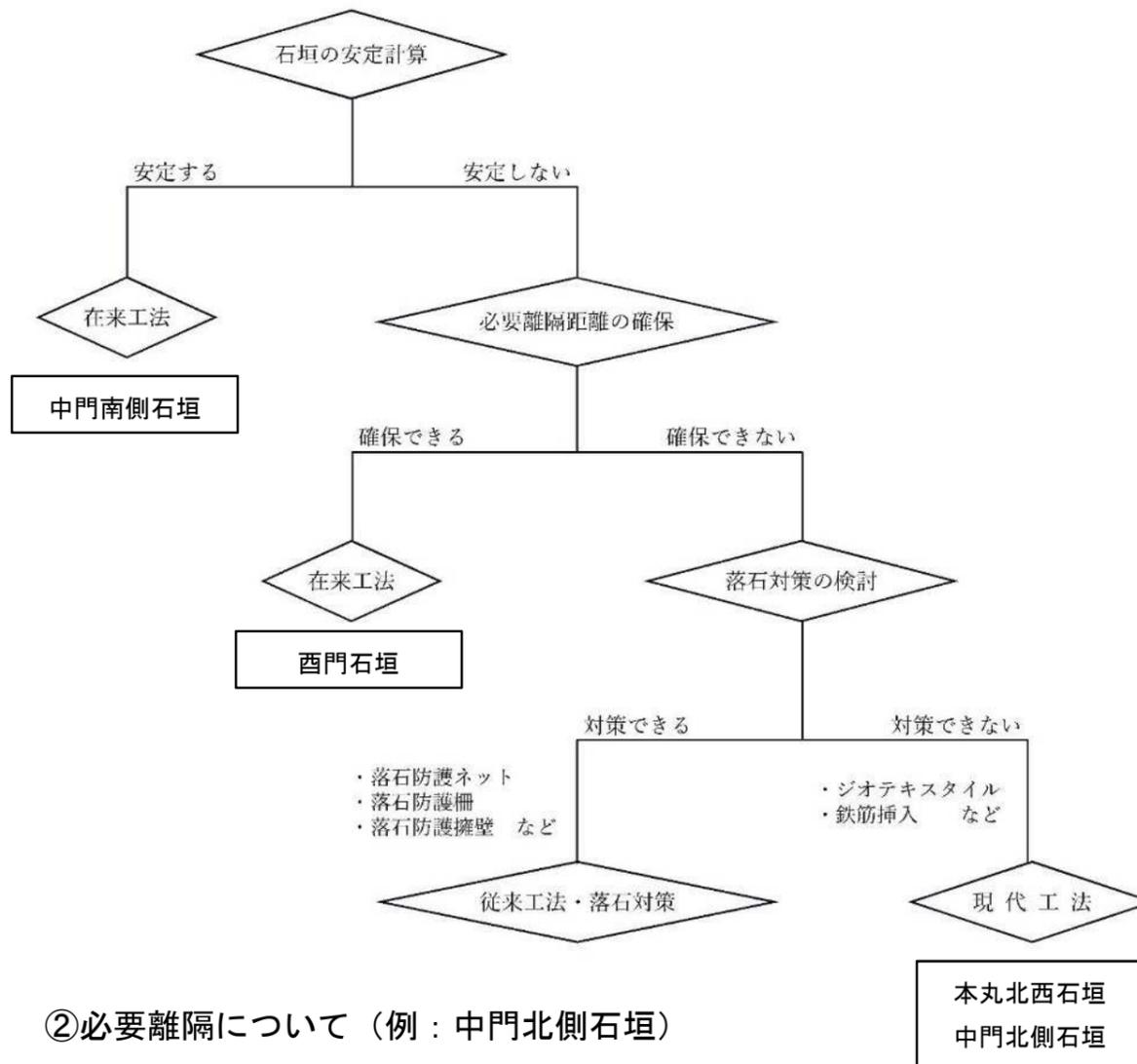
主な箇所の被災状況一覧表

※変形・崩壊の凡例 ◎：変状が大きい ○：変状が生じている ×：変状が無い

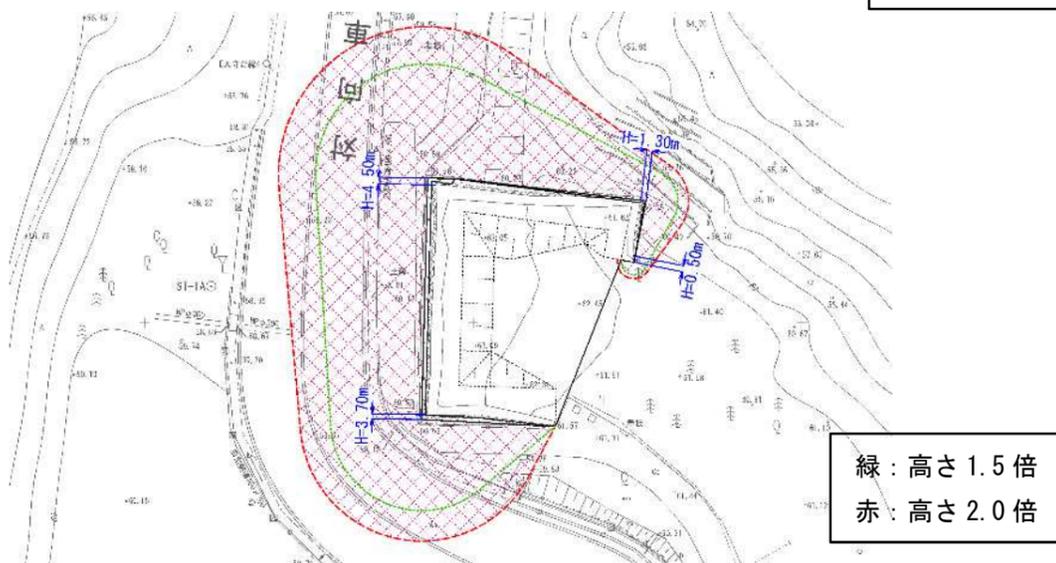
① 本丸北西石垣 C面		② 本丸北西石垣 D面		③ 本丸北西石垣 E面		④ 本丸北西石垣 F面	
2011. 3. 11 東日本大震災		2011. 3. 11 東日本大震災		2011. 3. 11 東日本大震災		2011. 3. 11 東日本大震災	
							
変形	○	変形	○	変形	○	変形	○
崩壊	◎	崩壊	○	崩壊	◎	崩壊	○
2022. 3. 16 福島県沖地震		2022. 3. 16 福島県沖地震		2022. 3. 16 福島県沖地震		2022. 3. 16 福島県沖地震	
							
変形	○	変形	○	変形	○	変形	○
崩壊	×	崩壊	×	崩壊	◎	崩壊	○
<p><前回との比較></p> <ul style="list-style-type: none"> 両地震ともほぼ同じ範囲の被災状況ではあるが、崩落を伴う被災があったのは東日本大震災のであり、福島県沖地震では崩落までは至っていない。当該石垣については、現代工法の効果もあったと判断している。 		<p><前回との比較></p> <ul style="list-style-type: none"> 両地震ともほぼ同じ範囲の被災状況ではあるが、崩落を伴う被災があったのは東日本大震災のであり、福島県沖地震では崩落までは至ってなく、はらみ等が主な変状であった。 		<p><前回との比較></p> <ul style="list-style-type: none"> 両地震ともほぼ同じ範囲の被災状況であり、又両地震とも崩落を伴う被災があった。崩落した範囲としては、向かって左側の比較的小ぶりの切石を用いている範囲であった。 		<p><前回との比較></p> <ul style="list-style-type: none"> 両地震ともほぼ同じ範囲の被災状況であり、又両地震とも崩落を伴う被災があった。崩落した範囲としては、E面との出隅みの箇所であり、E面の崩落に伴い崩落したと見られる。 	

4. 石垣の安全対策について

①石垣の安全対策の検討フロー



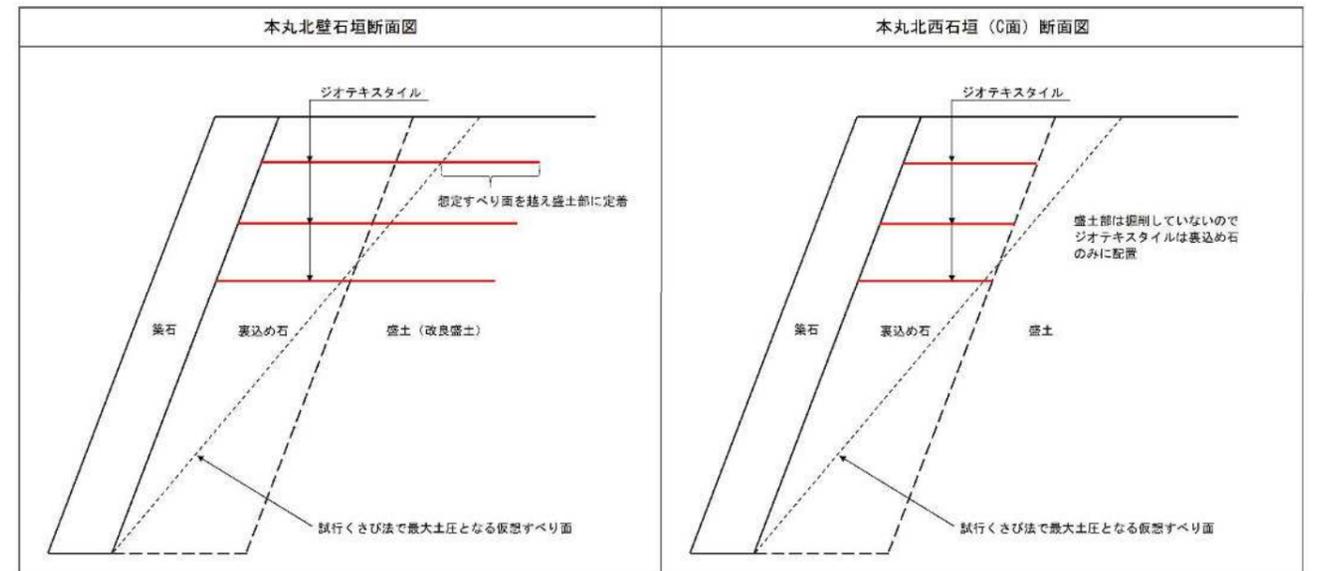
②必要離隔について（例：中門北側石垣）



③現代工法（案）について

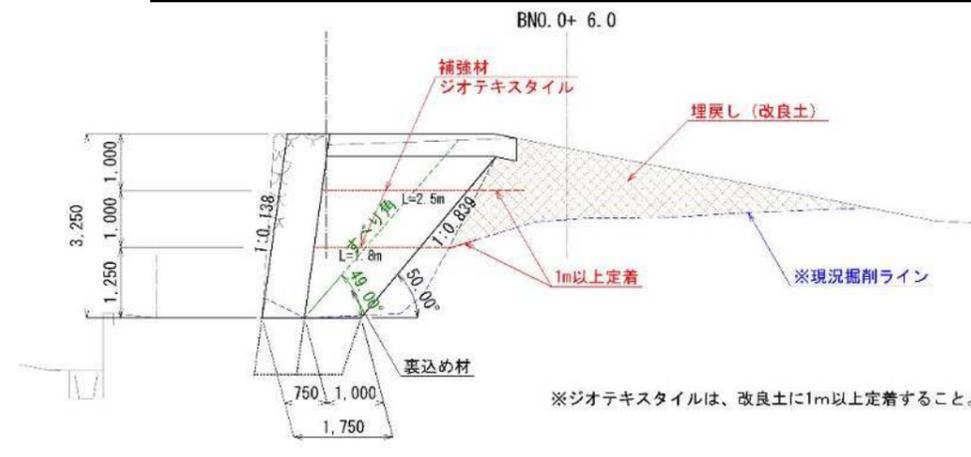
過去の修復において、耐震補強ネット（ジオテキスタイル）を配置した石垣について比較

- ・北壁石垣（H15 修復） → 地震による被害なし
- ・本丸北西石垣（H27 修復） → 地震により変形を生じている



＜相違点＞ジオテキスタイルを背面盛土に定着しているかどうか

※ジオテキスタイルは高強度ポリプロピレン製ネットであり、裏込め石の土圧を軽減し石垣の変形を抑制するもの



現代工法（案）【中門北側石垣】



3月6日災害復旧部会の様子